

# 日高地方における 野菜栽培の実際

和歌山県日高農業改良普及所  
仮家正弘

## 1. 地区の概要

和歌山県日高普及所管内は1市6町4村で県のほぼ中央部に位置し、面積 954.3km<sup>2</sup> で県の約20%を占める。

農家戸数は総数10,354戸で、そのうち専業農家は22.3%の2,306戸、第一種兼業は24.1%、第二種兼業53.6%である。専業農家は野菜地帯に多い。

気候は温暖で年平均気温 16.5℃、年間降雨量は1,880mmで、海岸線の一部には無霜地帯もある。これら海岸より標高550mの間に水稲2,720ha、果樹3,130ha、花き花木60ha、野菜延2,250haが作付されている。

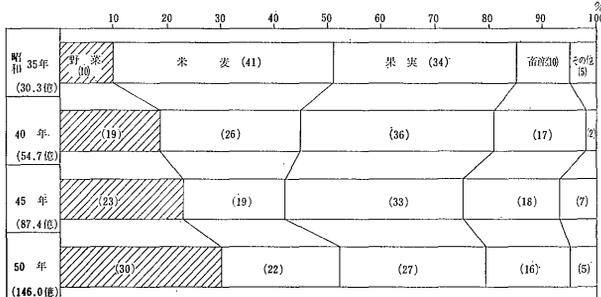
特に野菜の年間粗生産額は、県全体の30%以上を占めている。当管内の部門別割合とその推移は、第2図のとおりである。

## 2. 栽培の実態

### (1) 栽培品目と作付面積

年間野菜の作付延面積は約2,250haで、うち露地が約2,116ha、ビニールハウスが約135haである。品目は数

第1図 管内農業粗生産額に占める  
野菜の地位およびその推移 (農林業センサスより)



多いが、100ha以上はスイカ、レタス、実エンドウ、オランダエンドウ、キヌサヤエンドウ、インゲン、キャベツの7品目、それに基づき一寸ソラマメ、カボチャ、ブロッコリーが各60ha以上栽培されている。(第1表)

夏場はスイカ一色になるが、冬場はレタスとともにエンドウが主力である。特に第1表に示すように、エンドウを合計すれば約578ha、これにインゲン、一寸ソラマメを加えれば豆類合計約812haとなる。これは野菜全体の36.1%をも占め、いかにも豆産地であることを物語っている。また春きゅうり、冬レタス、春きゃべつの3品目は野菜指定産地になっている。

第1表 日高地方の野菜作付面積 (昭和54.2.普及所調べ ha)

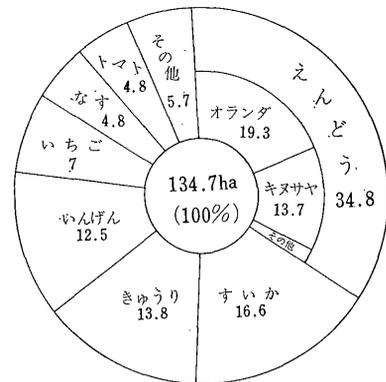
品目名	露地栽培	ビニールハウス栽培	合計	備考
すいか	490.1	22.4	512.5	小玉すいか37.0ha含む
レタス	272.2	—	272.2	
実エンドウ	270.5	0.5	271.0	
オランダエンドウ	133.2	26.0	159.2	
キヌサヤエンドウ	127.1	18.4	145.5	
サトウエンドウ	—	2.0	2.0	
さやインゲン	128.9	16.9	145.8	
一寸ソラマメ	88.4	—	88.4	
きゃべつ	220.4	—	220.4	
きゅうり	12.8	18.6	31.4	
かぼちゃ	61.5	1.7	63.2	
にんにく	26.3	—	26.3	
ブロッコリー	60.8	—	60.8	カリフラワー11.1ha含む
ししとう	17.8	1.6	19.4	ピーマン3.8ha含む
トマト	5.8	6.4	12.2	
いちご	4.0	9.4	13.4	
なす	5.8	6.4	12.2	
メロン	8.5	3.8	12.3	
漬物用野菜	65.6	—	65.6	しそ、のぎわな等
その他	116.0	0.6	116.6	セロリー、白菜、大根等
合計	2115.7	134.7	2250.4	

### (2) 施設園芸

ハウス栽培は昭和28年頃より半促成栽培のキュウリを中心に増加を辿って来たが、全国的にキュウリの作付増で価格低迷が続き、一時期より減少した。しかし最近

は、白イボ系品種に変わり徐々ながら増加の傾向にある。管内のハウス栽培の現状は、なんと云ってもエンドウが主力である。昭和46年頃より増えだして、現在すでに46.9ha、施設全体の約35%にあたる。オランダエンドウとキヌサヤエンドウがほとんどであるが、これらはもともと同時期に、露地

第2図 ハウス栽培の品目別割合



も栽培されているだけに、本年の暖冬であれば、ハウス栽培のメリットはほとんどない。ただ環境に左右されにくく、栽培が安定することと、厳寒期に良品質のものが

穫れるため増加した。

ハウスの型式はほとんどがパイプハウスで、無加温単棟型である。もちろんナスの促成栽培には、加温で大型ハウス式のものもあるが少ない。

(3) 地帯区分と品目

日高地方の特色一キヌサヤの莢えんどう、スイカ、レタスの栽培は、沿海岸段丘の畑地帯に栽培され、この地帯は当地方を代表する野菜地帯である。野菜専作経営がほとんどであり、若い後継者も多く、活発な農業振興が行われている。特に、昭和41年に完成した畑地かんがい施設(受益面積約250ha)が営農の中心となっている。

実エンドウ、キャベツ、一寸ソラマメ、ニンニク、レタスのトンネル栽培は、水稻の裏作として作付されている。また果樹との複合経営がほとんどである。

シントウは中山間地域に多く、漬物用の野沢菜とともに兼業農家に多い。イチゴ、ナス、トマト、キュウリは水田肥沃地帯で栽培されている。

(4) 土 壌 肥 料

管内野菜作付けの半分以上を占める畑地帯は洪積土で、耕土が浅く地力に乏しい。そのうえ、耕耘法は長期間ロータリー耕されてきたため、土の反転が少なく、表土と下層土の理化学性相違が大きくなっているようである。肥料も速効性高度化成を多用してきたことや、家畜離れで堆肥補給がないところへ、ポリマルチによる敷ワラ等まで少なくなり、ますます土壌の赤信号に迫ってきた。しかしスイカ、エンドウ等の連作障害が目立つにつれ、ようやく本格的な土づくりが展開されてきている。

土づくりの主なものとして、家畜糞尿、オガクズ堆肥、

パーク堆肥、生ワラ、えんどう穀のすき込み等、それにプラウによる反転耕、石灰やヨーリンの多施用からくるPH高の矯正にも、関心が深まって来た。

青刈りトウモロコシのすき込みが、大々的にとり入れられている。(約250ha)これは土づくりの有機資材だけでなく、マメ科とウリ科主体の輪作体系へ組み入れ、圃場のクリーニング化のねらいも兼ねている。その多くは、スイカの跡作に播種し、レタスやエンドウの作付されるまでの夏場1ヶ月間に生育させ、すき込んでいる。

(5) 主要品目の作型と品種

露地野菜を主とする当地方の野菜は、その作型も多種多様であり、しかも輪作体系としての組合せて、前作物の作況が大きく左右してることがしばしばある。主な品目と作型は第2表のとおりである。

3. 問題点と今後の方向

狭い耕地で、これだけの野菜を作付してゆくには勢い連作をよぎなくされ、しかもエンドウのように、昔から忌地性の強い作物の筆頭にあげられているものだけに、現実では一番多く障害に悩まされている。えんどう茎えそ病がそうである。土壌伝染性ウイルスで発生以来すでに7年目に入るが、いまだに直接の防除技術は解明されず、休作や代替え作物でもって対処している。

その他にスイカの青枯萎凋症対策に絡む接木用台木品種と品質、その他ハダニや菌核病等の病害虫問題は、特産地維持には付きものである。

一方、施設園芸にあっては、品目で一番多いエンドウも連作を重ね、今年ですでに8作目に入る。無理して連作をしているものの、いつまた難病が発生するか分らず

不安定であり、えんどうに替るべき品目の導入を図り、ゆとりのある輪作体系を早急に講じてゆかねばならない。

こうした部分的なもの以外に、水田再編対策絡みと、既存野菜産地への圧迫、流通上、品質重点の厳選規格からくる産地間の過剰競争、園芸資材を始めとする生産費のコストアップ、価格安定制度そのものの再検討等々、大小の問題点は山積している。

しかし、新品目産地は、一朝一夕で出来るものではなく、全国的にも野菜の供給量はほぼ満たされている中で、新産地を育成するということは、どこか既存産地と競合して打ち勝ってゆかねばならず、時と場合では、止むをえないこともあるが、当面は既存品目の安定向上を基として、部分的修正をしてゆく必要がある。それには今後、個々の対応策だけでなく、他作物との輪作はもちろん、経営全体から、さらに地区全体の総合対策を考えてゆかねばならない。

第2表 主要野菜の作型と品種および施肥成分例

品 目 名	作 型	主 要 品 種	本ほ植付期	収 穫 期 間	施肥成分例
す い か	大型トンネル	早生日章、日の丸神武、綺王マックスK.E	2.下~3.上	5.下~6.中	15-16-15
"	"	日章レッド、三喜	3.下~4.中	6.中~7.上	21-19-21
小 玉 す い か	大型トンネル	こだま、ニューこだま	2.中~3.上	5.下~6.下	20-18-20
オランダえんどう	抑 制	オランダ	7.下~8.下	10.中~2.下	17-15-17
"	ハ ウ ス	"	9.上~9.中	11.下~4.上	30-25-30
キヌサヤえんどう	抑 制	白 姫	8.中~ 下	10.下~2.中	18-20-20
"	春 ど り	在来種、乙女2号	9.下~	2.下~4.中	20-22-22
"	ハ ウ ス	白 姫	9.上~ 下	11.下~3.上	36-32-35
実 え ん ど う	春 ど り	久留米8号、きしゅううすい	10.中~	4.下~5.中	15-21-20
レ タ ス	年 内 ど り	オリンピック、グレイトレイクス366	9.上~10.上	10.中~1.上	29-26-21
"	冬 ど り	グレイトレイクス54	10.中~11.上	1.中~3.下	38-33-36
き や べ つ	冬 ど り	浜 風	10.上~ 中	12.下~2.下	30-18-32
"	春 ど り	ふじ、春ひかり7号	10.下~11.中	3.上~4.中	26-14-30
い ん げ ん	露 地 抑 制	すじなし江戸川	8.中~ 下	9.下~11.下	15-14-16
"	ハ ウ ス 抑 制	"	9.下~	11.中~12.中	12-13-13
"	ハ ウ ス 半 促 成	"	1.下~	3.中~4.下	12-13-13
一寸そらまめ	春 ど り	陵西、河内	10.下~	4.下~5.中	13-12-14
か ぼ ち ゃ	トンネル早熟	近成労働G	2.中~ 下	4.中~6.下	26-13-26
ブロッコリー	冬 ど り	中生緑、中晩性緑	8.下~9.下	11.中~3.下	35-20-35